

すぎなみ



歩きながら、元気が文化が、すぎなみ生まれる街。

発行/杉並区
編集/広報課
〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1

区の代表電話 ☎3312-2111
FAX3312-9911 (広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

暮らしのちょっとしたお問い合わせは
☎#8800または☎3372-8800
区役所いつでも電話サービス

目指そう！ごみの減量

- みんなとなみすけの7つの挑戦
～1人1日220gごみダイエット
- みんなで守ろう！
ごみの分け方・出し方

なみすけと
一緒に

目指そう！ごみの減量

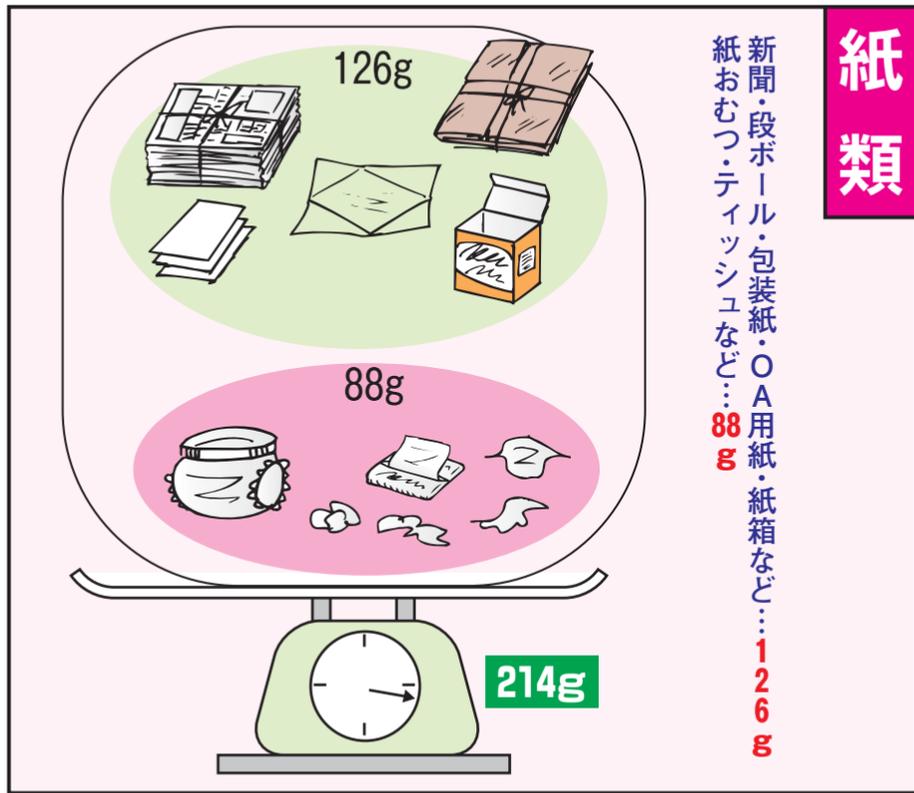
～ごみ半減プラン430を策定しました～

区では、プラスチック製容器包装やペットボトルの資源回収を区内全域で開始するなど、ごみの減量とリサイクルを推進してきました。ごみ量は着実に減ってきていますが、区が目指す「ごみを限りなくゼロにする社会の実現」のためには、さらなるごみの減量が必要です。区の清掃・リサイクル事業の指針である「杉並区一般廃棄物処理基本計画」では、22年度までに、1人が1日に出すごみの量を430gに減量することを目標としています。この減量目標を達成するために、区民の皆さんから「ごみ減量のアイデア」をいただき、具体的な減量プログラムである「ごみ半減プラン430」を策定しました。区民・事業者・区が協力して、ごみの減量に取り組んでいきましょう。

—問い合わせは、清掃管理課へ。

ステップⅠ

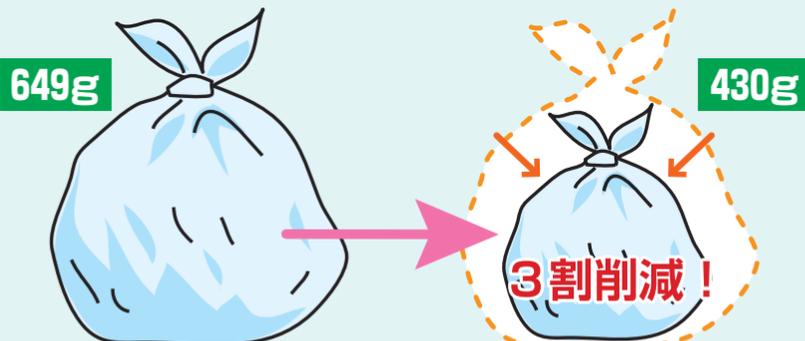
1人が1日に出しているごみの中身を調べてみよう



※数値は、いずれも18年度の実績値です。

22年度の目標は…430g

18年度の649gから22年度には430gへ



将来的には、ごみ量を限りなくゼロにする社会を目指します。その第一段階として、22年度に家庭から出るごみ量を1人1日430g(220g減量)することを目標にしています。

これに粗大ごみや不燃ごみなどが加わると649gになるんだ!

再利用できるもの
少し気を付ければごみにならない食品
ごみの中には、たくさん資源が入っているんだね。
う～ん、資源をちゃんと分別して、
ごみを減らしていくためには、
どんなことができるかな～?



ステップⅡ 2-3面では、なみすけが
皆さんにごみ減量のアイデアをお知らせします!



ステップII みんなとなみすけの7つの挑戦 ~ 1人1日220gごみダイエット

「ごみ半減プラン430」に盛り込まれた、ごみ減量のための7つの挑戦を紹介します。皆さんの家庭から出るごみを1人1日649gから430g、4人家族で1日1kgのごみ減量を目指しましょう！

1 生ごみはギュウツとひとしぼり 野菜の皮は、しばらく置いて乾燥させよう

生ごみには多くの水分が含まれています。ギュウツとひとしぼりをすれば、約20%も生ごみの減量ができます！

また、においの防止にも役立ちます。実践してみてください。

3 適量購入や適量調理に挑戦してみよう

作りすぎの料理や使いきれなかった食材、冷蔵庫の中で古くなった食材も「ごみ」になってしまいます。

適量購入や適量調理など、少しの工夫で食品・食材が「ごみ」になることを防ぐことができます。

買いすぎた食材

適量を購入しましょう

5 「すぐに捨てない」ライフスタイルを構築しよう

壊れてしまったものを修理したり、使わなくなったものは人に譲ったり……。

捨ててしまう前に「まだ使える方法はないかな？」と、ちょっと考えることを習慣にしてみましょう。

次は君が使ってね!

7 紙箱・包装紙、みんなリサイクルへ

「古紙の日」に回収しているのは、新聞・段ボール・紙パック(牛乳パックなど)・雑誌や雑がみです。家庭の中にあるお菓子・ティッシュの空き箱・トイレットペーパーの芯も「雑がみ」として回収しています。

◆家庭の中によくある「雑がみ」

- ・菓子の空き箱
- ・ティッシュの空き箱
- ・カレールの空き箱
- ・ラップなどの空き箱
- ・包装紙・紙袋
- ・メモ用紙・カレンダー
- ・台紙(ヨーグルトパックを乗せてある台紙、洋服などの個別包装の中の台紙など)
- ・紙製バイナダー
- ・ノート
- ・コピー用紙
- ・トイレットペーパーの芯
- ・ラップなどの芯
- ・パンフレット

(ビニール加工された持ち手や紙袋は除く)

2 ごみ減量の実現に向けて情報を発信していきます

区は、ごみ量の変化や処理にかかる経費など、清掃に関するさまざまな情報や減量アイデアなどを、皆さんにわかりやすくお伝えしていきます。

区民・事業者・区が共に協力してごみ減量を実現できる社会を目指します。

4 ペットボトルやプラスチック製容器包装は、サッと洗って、資源に分別！

6 ご存じですか？ 資源の集団回収は2世帯から始められます

集団回収は、地域の結びつきを強め、リサイクルに対する意識の向上や、資源回収量の増加にもつながります。

詳細は、NPO法人すぎなみ環境ネットワーク ☎5347-2255へ。

ステップIII ごみの正しい分け方・出し方を4面でお知らせします！

1 PET ペットボトルが生まれ変わるまで

ペットボトルは資源です！分別して出しましょう

分別して、
①決められた曜日に集積所へ。
②または店頭回収ボックスにお出しください。

飲料用、調味料用のペットボトルの出し方

- ①キャップを外す
- ②軽く洗う
- ③中身の残りを絞る
- ④入れ出し

区が集積所やコンビニエンスストア等から回収します

区が回収ボックス(右写真)やコンビニエンスストア等から回収します。今年の4月~10月の回収量は1166t。これは、ごみ収集車3330台分にもなります。

資源化施設で圧縮「ペール」にします

作業員が手作業で選別し、1㎡(約20kg)に圧縮した「ペール(下写真)」にします。

生まれ変わり、再び商品へ

新たなペットボトル・ユニフォーム・シャツ・ネクタイ・ハンガー・玉子のパックなど、さまざまな形に生まれ変わり、私たちの暮らしの中で再び活用されています。

再商品化施設でペールを粉碎・洗浄 透明な「フレーク」にします

ペールは再商品化施設で、粉碎・洗浄して透明なフレーク(右写真)にします。これが、プラスチック製品の原料となります。

回収したペットボトルには、飲み残しのジュースや注射針が入ったものが混入していることがあります。最終的な選別は、作業員の手で行っていますが、良質な資源とするためには、家庭での適正な分別が欠かせません。皆さんのご協力をお願いします。

21年3月31日で、東京23区推奨ごみ袋を廃止します

廃止後は一般に市販されている透明または半透明のごみ袋をご使用ください。問い合わせは、清掃管理課管理係へ。

4月以降も、お手元の東京23区推奨ごみ袋や、在庫整理のために店頭で販売されている東京23区推奨ごみ袋は、引き続きごみ袋として使用することができます。しかし、内容が識別できない黒色などの袋や簡単に破れてしまう袋は使用できません。

◆区の収集に排出している事業者の方へ
事業者が出すごみや資源は有料収集です。ごみ量に応じたごみ処理券をはって出してください。ごみ処理券がはっていない場合は収集できませんので、ご注意ください。

ステップⅢ みんなで守ろう！ごみの分け方・出し方



- ごみは午前7時30分までに、資源は8時までに決められた場所に出しましょう。
- ごみ集積所の前には駐車しないようお願いします。
- 集積所のマナーは守りましょう。
- ごみは分別して、決められた曜日に出しましょう。

——問い合わせは、清掃管理課清掃計画係へ。

その①・まずは正しい分別から始めよう♪

「ごみ・資源の収集カレンダー」を全世帯のポストへ直接配付します

ごみの分け方・出し方をわかりやすくお伝えするために、21年版「ごみ・資源の収集カレンダー」を全世帯に配付します。これまでよりもイラストが豊富で、文字も大きく読みやすいものになりました。これを機会に、もう一度内容をご確認の上、正しい分別にご協力をお願いします。

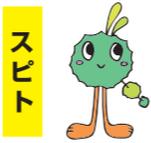
配付方法

12月1日(月)～26日(金)までに、全世帯のポストに直接投函(事業所・アパート・マンションの各部屋にも配付します)

地域によって異なります！必ず住所を確認してください。



▲A4判24ページ



その②・収集日を確認してごみを出そう！

21年1月から ※曜日と分別方法の変更はありません 不燃ごみの収集日が変わります

これまで隔週だった不燃ごみの収集を、21年1月から「第1週・第3週」または「第2週・第4週」に決めて、月に2回収集します。お住まいの地域の収集日は、上記「ごみ・資源の収集カレンダー」でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

- 第1・3週(その月の1回目と3回目にくる曜日)
- 第2・4週(その月の2回目と4回目にくる曜日)
- 第5週(不燃ごみの収集はありません)

例えば…
これまで隔週水曜日 ← **21年1月から** ← 第1・3水曜日に収集
または
第2・4水曜日に収集

環境にやさしい区民賞

区を活動の場として、優れた工夫やアイデアなどにより、日ごろから環境に配慮した活動に励んでいる区民や区内学校などに贈られる賞

- ★グランプリ=東田町バス通り商店会
3月1日から首都圏初の取り組みとして、商店会45店舗のうち27店舗でレジ袋有料化を実施し、レジ袋削減・資源の節約に努めています。
- ★準グランプリ=私立杉並日の出幼稚園
園内での野菜作りや果実の収穫を通して、園児たちが自然に親しみ環境配慮行動を学んでいます。また、卒園した園児の制服や帽子などの再利用や集団回収、落ち葉のたい肥化など多くの取り組みを行っています。

厚着賞

過大な包装や多重包装で無駄な部分が多いと思われる商品などに贈られ、改善を促す賞

- ★グランプリ=ワイシャツなどの包装
厚紙の台紙やプラスチックのクリップなど、過剰な包装が多々見られます。

※区は、過去に厚着賞の対象になった商品について、包装の簡易化等の改善を果した事業者へ贈る「ダイエット賞」を設けていますが、今年は該当がありませんでした。

ベストごみ減量賞

再利用可能な商品の開発や、商品の再利用・再生利用などの取り組みにより、ごみの発生抑制に貢献した事業者に贈られる賞

- ◇一般部門
★グランプリ=(株)ユニクロ
3月と9月を、不要になったユニクロ商品の回収月間として、衣類の不足に悩む海外難民キャンプへ寄付活動などを行っています。
- ◇区内事業者部門
★グランプリ=古着屋「R」(アール)
古着を取り扱い、衣類のリユースに取り組むとともに、商品を作る際に発生した二酸化炭素をブラジルでの温室効果ガス削減プロジェクトに参加することで相殺。環境にやさしい商品を販売しています。

薄着賞

環境にやさしい包装や、簡易包装などで環境に配慮していると思われる商品などに贈られる賞

- ★グランプリ=ポカリスエット エコボトル
500ml ペットボトルを薄くして重さ18gを実現。30%軽量化に成功しました。
- ★準グランプリ=ミツカン「金のつぶ あらっ便利」
納豆とたれを区切った容器の開発で、フィルムや小袋の削減に成功、ごみの減量に取り組んでいます。

すぎなみ環境賞の各賞受賞者が決まりました

すぎなみ環境賞は、環境に配慮した行動の一層の普及を図るため、「ごみ減量に努める区民や団体などを表彰する「杉並区独自の制度」です。区役所一階ロビーや区内の出先施設等で、一カ月間にわたり区民投票を実施し、その結果をもとに最終選考で各賞の受賞者を決定。10月18日(土)の「環境博覧会すぎなみ2008」会場で表彰しました。



(発行日) 毎月1日、11日、21日

